

## 武蔵野市水環境連続講座「水の学校」とは

「水の学校」は、市民のみなさんといっしょに、水を知り、考える連続講座です。くらしの中の身近な水循環、下水道の役割や、水に親しみ水を楽しむ知恵、そして世界規模の水課題、地球規模の水循環まで、水をとりにくくさまざまなテーマをとりあげ、楽しみながら考えを深め、行動へつなげます。2014年度からスタートし、5年目を迎えました。

### 連続講座レポート

## 第5回 まちを守る下水道施設

### 武蔵野市内地下施設見学ツアー

市内には大型の下水道施設が点在していますが、その存在や役割を知っている人は多くありません。11月17日（土）の第5回講座では、グループごとに市内にある2か所の下水道施設や周辺の地形を見学し、その後「武蔵野市内の水の流れと、市民にできることを考える」をテーマにワークショップを行いました。

### 市内の地下施設見学

水の学校サポーター 市川さん

#### 【北町雨水貯留施設】

北町保育園周辺は地盤が低く、すり鉢状の地形のため浸水被害を受けやすい地域と説明を聞いていましたが、実際にすり鉢状の底である交差点に立ってみると四方からの道が思っていた以上に急こう配であることがわかります。過去の浸水がどれ程だったか高さで示されると一斉に声が上がりが被害の大きさに驚きました。

保育園園庭に埋め込まれている雨水貯水槽に多くの雨水を取り込めるよう、上面、側面から雨が流れ込む新しいグリーンチングが設置されていました。

#### 【東町一丁目合流式下水道改善施設】

まず驚いたのが普段利用している道にこのような施設があったということです。

8500㎡の雨水貯留槽は河川への未処理下水によるゴミや汚物を削減する役割もあるので臭いはどの程度なのかと興味がありましたが、施設内は数層の脱臭フィルターによって臭いがほとんど外にもれずに管理されていました。

ヘルメットに軍手で地下2階の槽内の見学は圧巻で、メンバー同士自然に言葉を交わし合い連帯感が生まれ、地上に出ると数人で建物のチェックをして2側面に脱臭フィルターがあることを確認しました。

受講生からは、「下水道にストレスがかからないよう落ち葉やゴミは側溝に落とさないようにする。」というコメントが多くありました。

私自身、講座の翌日、東町1丁目合流式下水道施設から善福寺川への流れをたどる散歩をしてみました。東京女子大横から善福寺公園に行く坂道が急で公園に降りてみるとここでもすり鉢状の底である地形を感じました。自然と災害の関係、都市開発、下水道は益々発展していくことを頼もしく思いました。

### 雨水対策として市民ができること

水の学校サポーター 佐藤幸雄さん

ワークショップの前に、サポーター1期生の内田さんから、先祖代々武蔵野市に住む方からの窪地と水害にまつわる先祖伝承の教訓や言い伝えのお話をして頂き、現在の武蔵野市のハザードマップの浸水予想地域や雨水対策と繋がりが市民の安全安心と結びついていることを解説頂きました。

その後のグループワークでは以下のような提案がありました。

- 防災や雨水活用の意識を高める：関連情報を市報やSNS・HPで発信し、啓発活動として小中学校の出前教室や市民公開講座などの開催
- 雨水の地中への還元力を高める：浸透枳や道路・駐車場の透水性舗装などの設置や農地や花壇などの維持
- 雨水対策施設の機能維持と負荷低減：側溝・排水溝の定期的な掃除、浸透枳や雨水タンクの設置などで雨水排水量を削減



←合流改善施設には、制御のためのさまざまな機械が設置されています。

→北町保育園前の交差点には、過去の浸水記録が刻まれています。

